

J A R L

香川クラブ報

No. 389 平成25年6月15日



J A 5 Y D E

フィールドミーティングのご案内

5月の前半は寒い日が続いたのですが、6月が近づいてきましたら流石に毎日が暑くなってきました。調を崩さず無線運用に頑張っていますか。

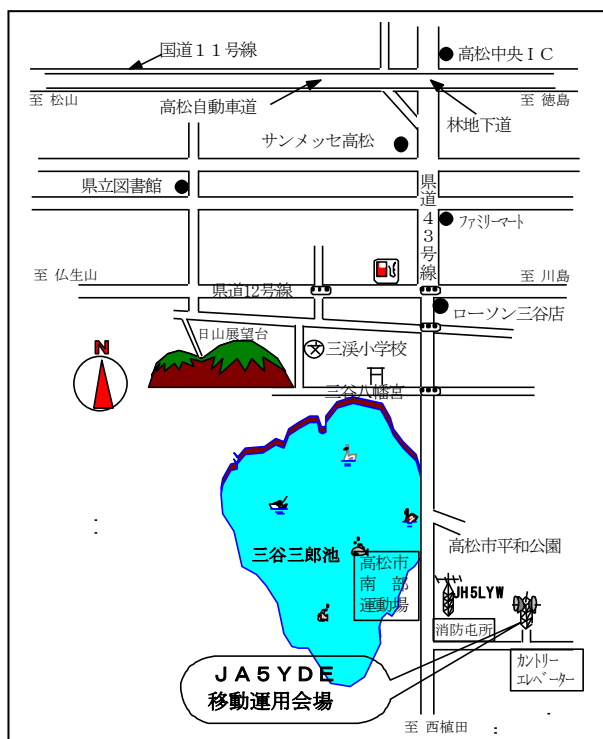
先日5月13日に喫茶不二の屋にて定例ミーティングが行われました、今年のフィールドミーティングも三好会長に甘えて会場をお願い致しました。

J A 5 Y D E の運用、無線談義をしながら楽しい仲間と焼肉を相手においしいビール等で一杯となりました。

お忙しいとは思いますが楽しい一日となりますように多数のご参加宜しくお願い申し上げます。

記

日 時： 8月10日（土）（雨天決行）
焼き肉ミーティング 19時より
用意等の為時間の取れる方は16時より
場 所： 三谷町 J H 5 L Y W 三好会長邸別宅
参 加 費： クラブ会員（男性）1,000円
（女性）500円
会員以外 上記プラス500円
参加申込み： 7月31（水）〆切
連絡先： J H 5 E Z B 三木（
J E 5 P B O 岡田（



クラブミーティングの報告

5月13日(月)19:30から喫茶「不二の屋」にて開催しました。当日は、他の会がいつもの場所を使用していましたので、南側のいす席でのミーティングになりました。議案は、1. 四国地方ARDF競技大会、2. 高松市趣味協会、3. オールJA5コンテスト、4. フィールドミーティング、5. クラブ員ジャンパー、その他、多田さんを偲んでの原稿について主なものとして協議しました。

1. 四国地方ARDF競技大会はさぬき市の春日温泉周辺を会場にして開催されることになりました。総参加人員は45名を数えており、遠くは和歌山県紀北工業高校より6名が参加を予定しています。
2. 高松市趣味協会については、総会が開催されクラブから天野・三好・三木の3名が参加しました。役員が新しくなり元奇術クラブの藤川事務局長が選任され、クラブ2件が退会、2件が新入会となりました。行事は例年どおりで、恒例のロビー展が10月7,8,9日の3日間行われます。また、今年の研修会は10月14日(月・祝)に小豆島の瀬戸内国際芸術祭鑑賞に28人乗りバスで行くことになりました。
3. オールJA5コンテスト(7月20、21日)にはクラブと個人で参加する。
4. 夏のフィールドミーティングについて、8月10日(土)の16:00から準備して19:00からバーベキューパーティを予定しています。昨年同様にクラブ局(JA5YDE)の運用を楽しみましょう。会場の設営や買い物等の準備がありますので時間に余裕のある会員はお手伝いをお願いします。
5. JARL香川クラブのスタッフジャンパーについて今回は4名の方の申し込みがあり、業者より5月28に届きましたので申し込みをされていた会員には順次お渡しできると思います。希望する会員は来年の総会まで受け付けを継続しますので申し込みをお願いします。
6. その他として、三好会長から多田さんの過去の写真がPCスライドで紹介され多田さんを偲ぶ会員寄稿の現状とその取り扱いについての説明があり原稿は会長の方で関連写真を入れ一応編集の上、通常の6月号クラブ報にページを増やし併せて掲載することにしています。



出席者：JA5AHM/JA5IJL/JA5TOP/JA5UVT/JH5EZB/JH5LYW/JE5PB0/J15VUZ/J15XTP

ARDF大会に参加してきました

<徳島県支部ARDF競技大会> 144MHz

平成 25 年 4 月 29 日 (月)
徳島県阿波市阿波町

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	
M21	時超	JG5OBX	2 時間 10 分 10 秒	4 個	
M50	2 位	JG5WTP	1 時間 21 分 50 秒	4 個	
M60	2 位	JA5UVT	1 時間 12 分 54 秒	3 個	
	5 位	JH5LYW	1 時間 15 分 46 秒	3 個 (5)	

<四国地方ARDF競技大会> 144MHz

平成 25 年 5 月 26 日 (日)
香川県さぬき市「春日温泉周辺」

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	
M60	1 位	JH5LYW	1 時間 03 分 52 秒	3 個 (5)	
	4 位	JA5UVT	1 時間 34 分 35 秒	3 個	
	5 位	JA5TOP	1 時間 38 分 40 秒	3 個	

スタッフ

JA5IJL/JA5TFJ/JH5PRJ/JE5PBO/JF5MED/JG5OBX/JG5WTP/JI5XTP/JJ5CAE

今大会の競技場所は春日温泉を起点とした半径 2 k m 弱の高低差の少ないフィールドでした。運営側は T X の配置をする場合、電波の反射を受けやすい場所や川があれば対岸に渡る橋の場所を考慮して設定をする。また競技者は地図を受け取ったときに T X 配置場所を大まかに想定する。両者とも自分の思惑道理になったときほど充実感を味わえる。また思惑が外れた時は自分の技量のなさを思い知らされる競技となる。

JARL 香川クラブ・スタッフジャンパーの注文受付

先日のミーテングにて作成の提案があり業者に依頼して決定しました。仕様は現在のものと同一で背中にクラブのネーム、腕にはクラブのコールサイン、胸には自分のコールサインを刺繍しています。会員の皆様より注文を受付しますのでお申し込みください。

- 色 調 レッド
- 頒布価格 1 着 5,000 円 (税込)
- 申込み先 JI5VUZ (市原)

- 申込みの時にサイズとコールサインをお願いします。

	S	M	L	LL	3L	4L	5L
着 丈	64	66	69	71	71	73	73
肩 幅	51	53	55	57	58	60	61
袖 丈	52	55	57	58	58	60	61
胸 廻	115	120	125	130	135	140	145



ALL J A 5 コンテストに参加をしよう

日 時：7月20日（土）21:00～21日（日）21:00JST

参加資格：全アマチュア局とSWL

部 門 [電 信]：マルチバンド・シングルバンド

[電信電話]：マルチバンド・シングルバンド

・ 社団局とSWLはマルチ・シングルの区別なし

・ エントリーは1部門

周波数・電力：各アマチュア局に許可された範囲

・ 3.8/10/18/24MHz、レピータは除く

コンテストナンバー：

・ 四国内の局：RST+市郡ナンバー+電力を表すH・M・L・P

・ 四国外の局：RST+都府県支庁ナンバー+電力を表すH・M・L・P

マルチプレイヤー 四国内：都府県支庁

四国外：四国内の市郡

得 点：完全な交信 1点

総 得 点：各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチの和

入 賞：各部門の上位、四国内は県ごとの1位（賞状のみ）

・ 同一局との交信は、同一バンド内は一回のみ有効

・ ゲストオペの参加不可

・ コールサインを持っている局がそのコールでSWL部門への参加は自由だが入賞は除外

・ 同点の場合は終了時刻の早い局を上位とする

・ 審査等はコンテスト委員長の権限により行う

ロ グ：JARL制定ログ・サマリーまたは同形式

締 切：8月5日（月） 当日消印有効

提 出 先：〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡1237-32

森田耕司方コンテスト係

・ 封書の表に「コンテストログ在中」と朱書し、差出人の住所、氏名も記入

クラブ局を運用したい方は事務局にお問い合わせして下さい。

お問い合わせ先三好会長：TEL

メール

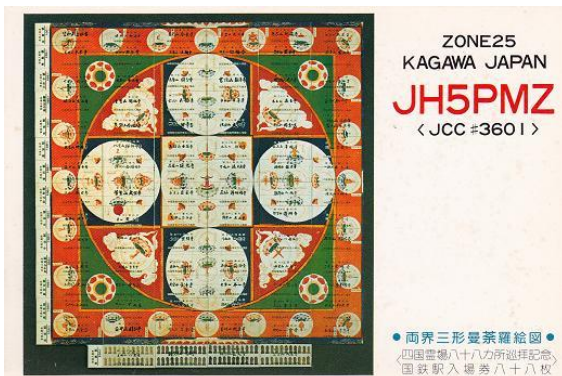
特集「JH5PMZ 多田OMを偲んで」

平成 25 年 2 月 12 日 65 歳という若さで天寿を全うされ、私たちの前から旅立っていった JH5PMZ を偲んで追悼いたします。

多田OMは仕事仲間のM氏からアマチュア無線の面白さを説かれ、昭和 56 年春に高松で開催された講習会において電話級の資格を取得し、7 月 25 日に JH5PMZ を開局。昭和 60 年春には電信級を取得、主に 144MHzSSB で運用・活躍し、昭和 63 年の第 30 回 JARL 通常総会(瀬戸大橋総会)や 8 J5WCY 始め各特別記念局の運用、ARDF の役員・審判など JARL 香川県支部の行事に積極的に参加し活躍してられました。

JARL 香川クラブには平成 3 年 4 月に入会され、企画・渉外担当として長年にわたりクラブの活動を支えてくれていました。

ここに改めて哀悼の意を表すとともに感謝したいと思います。



〈自慢のQSLカード〉



〈自慢のメインタワー〉

『私と主人』

JR5IKV 多田喜久子

私たちは昭和 46 年 10 月 10 日に結婚しました。子供には恵まれませんでした、何時も何処へ行くにも一緒だったような気がします。

10 数年前から主人の下手間(手伝い)として、屋根に上がるわけでもなし、板金物のハサミが使えるわけでもありませんでしたが「その道具を取れ」「この部品を取れ」「ここ持っとけ」など、それだけのことでしたが!!

アマチュア無線を始めたのは、たしか昭和 56 年頃だったと思います。仕事仲間の方の事務所へ行ったのがきっかけだったようです。事務所の机の上に無線機が並んでおり、何か喋っていたみたいです。

「何これ?」と聞くと「ハムや」と言う言葉が帰ってきたそうです。それからその方にいろいろ話を聞きのめり込んだみたいです。

昭和 57 年には、その当時トヨタクラウンを購入できるぐらいの大金を注ぎ込みクランクアップタワーを建て、無線機の中古品を探し、JH5PMZ の始まりでした。

それからというもの、年が若かったせいかいろいろな仲間と、仕事の合間をみては土・日はほとんど移動運用に明け暮れていました。

若かったせいか、疲れたとかえらいとは言わず、帰ると黙々と仕事をこなしていました。やれEスポだの1エリヤが7エリヤ・8エリヤなどが出ると、すぐさま家に帰って来てアンテナを向けて頑張っていました。

49歳の時、若年性脳出血を患い、それからというものアマチュア無線への意欲が無くなったような気がします。

それと同時に携帯電話の発達により、だんだんと冷めていったような気がします。

でも、12月のマラソンコンテストには、皆さんにサービスをしたりしてログを提出していました。

早いもので32年間のハムライフ、いろいろと皆様にはお世話になりました。

本人はもう少し、人生を皆様方と楽しみたかったに違いありません。本当にありがとうございました。

先日、クランクアップタワーを下ろす際に携わっていただいた皆様には厚くお礼申し上げます。

お忙しい中ありがとうございました。



『JH5PMZ 多田敬一さんとの出会い』

J A 5 A H M 天野英弘

県庁の所在地でレピータ局がないのは高松市だけと言われ、さぬき2mSSBクラブと私の交流が始まったのが昭和60年2月17日。

そのクラブは毎月8日にミーティングを開いていましたが、当時、空港通りに「ノバ」という喫茶店があり、そこへレピータ局の情報交換のため毎回ミーティングの仲間に入れていただき、開局するための作戦会議をおこなっていました。



機器の手配や周波数の確保など困難なことが多く、2年の月日が過ぎていったように思います。

そこで出会ったのがJH5PMZ 多田さんです。

彼はまだJARL香川クラブには入会しておらず、その後縁があって私達のクラブで行動を共にすることになりました。

温厚な人柄で、話し易く、思いやりのある人だということは当時から感じていました。

その彼がわがクラブに入会し、クラブの中心で活躍してくれるようにな

ったのです。

今から思えば、JARL香川クラブとしては大変な損失で残念に思っております。

ご冥福をお祈り致します。

『多田さんを偲んで』

J A 5 M G 稲毛 章

私と多田さんとの最初の出会いは、いつ頃であったかは定かではありません。多分香川クラブでの何かのミーティングではないかと思います。

この10数年来では、年末恒例のクラブ忘年会でにぎやかに杯を交わしたこと、3月のクラブ総会でお顔を会わす事でした。

そのような中で、私の最も忘れることの出来ない、そして今でも感謝の気持ちで一杯の思い出が、2年前に香川県で開催された全日本ARDF競技大会の最後の表彰式で、大勢の表彰状を読み上げている最中、口がカラカラになって苦しかった時に、多田さんからペットボトルのお茶を手渡して頂いたことです。どんなに助かったことか、ほんとうに有り難う。

多田さんのあまりにも早い旅立ちに残念な気持ちでいっぱいです。

ご冥福をこころからお祈りいたします。 合掌



『多田さんの突然の訃報がまだ信じられません』

J G 5 O B X 丸山 博

多田さんの突然の訃報がまだ信じられません。今でも「なんしょんな。もうごじやいわんの。」という声が聞こえてきそうです。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

合掌



『J H 5 P M Z 多田さんを偲んで』

J A 5 I J L 林 廣次

メールで多田さん「J H 5 P M Z」の訃報を知りました。

私は多田さんとは2000年8月15日喫茶不二の屋のクラブのミーティングでお会いしたのが初めてです。433.320MHzで毎朝J H 5 P M Zさんの元気な声を聞きながら車の運転をしていました。

アマチュア無線を30年余りの長きにわたり楽しんで来られたJ H 5 P M Zさんの御冥福をお祈りします。 合掌



『多田さんとの思い出』

J A 5 T F J 横田壽夫

私が多田OMと知り合ったのは、もう三十数年前にもなるでしょうか。

彼とは沢山の共通点から一度に親しくなったものでした。

四国八十八ヶ寺や淡路島七福神めぐりのお寺にもアマチュア局がある事、石鎚山先達の事、白バイ隊員指導の事、消防団活動から地元お寺の住職の事等々、話題も豊富で全て話が合いました。

兎に角、彼は2mでの活躍の腕は日本列島、北は8エリヤから南の6エリヤまで沢山の局と交流があり、色々教えられたり驚かされたものです。

一方、おしどり夫婦の彼はIKVさんといつも一緒に車で走られて、喫茶店、うどん屋、アマ局等の所在ではPC以上の記憶力には頭が下りました。

そして彼はもめごと等の調整では、云わば送信機の緩衝帯の様な、まとめ役のお人柄でもありました。最近ではARDFのスタッフとして、私はスタート係、彼はゴールといつも一緒、ビーコンの責任者が居なくなりました。

県や市の防災訓練にも一緒に参加しました。

ここ数年のマラソンコンテストでは、どのバンドでもIKVさんと2人で2点のサービスを戴き入賞させて戴きました。

時にはご夫婦でお野菜を届けて頂いたり、昨年当局が某局長からQSYされた超大のアンテナを家までトラックで運んでくれ「暖かくなったら俺が上げに来るからのう！」と言ってくれていましたのに、遂にこれも叶わなくなりました。

彼のワッチ度も凄いもの、ある日、私が夜中に大量下血で病院に救急搬送されたことも熟知されており、後で知らされました。

こんな幅広い活躍と共に常に笑顔でユーモラスな彼でした。

最近「各局各局こちらはJH5・・・」とお空でモーニングコーヒー向けの430MHzを傍受（たぬき）して、「ああ今日もお元気で愛車リンカーンに乗ってお仕事に出掛けられておるなあ」と。この声が聞けなくなっ

たのが何より寂しいことです。

彼との思い出は書けば紙面が足りませんが、ハム仲間として、クラブの重要なメンバーの一人として、本当にかげがいのない人でした。香川クラブにとっても大きな損失となりました。

まだまだこれからのお人であった多田さん。本当にありがとうございました。どうぞ安らかに眠り下さい。そして残された奥様と共に、香川クラブをお空からお守り下さい。



ここに謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。（合掌）



『多田さんを偲んで』

J A 5 T O P 平賀正明

多田さんといっしょに行動するといつも大きな声で元気が良く明るく楽しいことです。その元気な声もう聞こえません。先般、奥様を囲み食事をしながら大勢の仲間から多田さんを偲ぶ懐かしい話がたくさん出ていました。香川クラブの行事はもちろんの事、J A R L 香川県支部の行事でもいつもお手伝いされている姿が目に見えます。私はそんな公式の場でない所で楽しく会話したことが思い出されます。



ある時、私の従兄弟が納屋のはしごから落ちて足を骨折したと連絡があつてさっそく見舞いにある病院へ行つたところ従兄弟と並んで多田さんが足にギブスをしているではありませんか。多田さんいわく「誰にも言っていないのに地獄耳やなあ」とニコニコ顔！ 私は「エーちがうちがう」と引けてしまった。よくよく聞くと多田さんは私の従兄弟と話をすることで私のことや多田さんの従兄弟さん（別の立場でたいへん偉い人）の会社で私の従兄弟が働いていること

とを知って大変親しみを覚えていたようでした。三人で病院なのに大きな声で長い時間話したことが思い出されます。

また、クラブ行事で多田さんと私が見合つてあつと驚くと同時に笑ってしまいました。というのは服装が上下ともにYシャツとGパン姿で柄もボタンもまったく同じで双子か兄弟のようでした。すぐ私が「弟分やから兄貴とそっくりさんでもええんよ」というとハハハと大笑いでした。先般、奥様に確認したところ私方の家内が買ったところと同じところで買っていました。一緒にいて楽しかったPMZ多田さん天国で見てね！

『多田さんとアマチュア無線』

J I 5 S A O 丸山 誠

四国新聞のお悔やみ欄を見て知りビックリしました。アマチュア無線局が少なくなつてきていますが、JH5PMZ 多田さんがお亡くなりになったことは残念に思っています。

仕事のほうが忙しくて残業で遅くなりましたが通夜だけは行ってきました。まだ亡くなる年齢でもないのに、もっとアマチュア無線を通じてQSOしたり、アイボールもしたりしてアマチュア無線を楽しみたかったのですが、亡くなってしまうと、いくらQSOやアイボールをしたくてもできませんね。とても悲しいです。生きている間は、たとえ少しの時間しかアマチュア無線をすることができなくても、アマチュア無線を続けて行きたいですね。



『趣味の仲間』

JH5EZB 三木博之

30年以上も昔になるでしょうか、昔高松市三名町にグリーンハウスがある頃に、144MHzのCQが縁で多田（JH5PMZ）さんと知り合い、もし時間があれば一緒に食事をしませんかと誘われて、昼食での歓談が最初の出会いでした。

多田さんはナイフ、フォークを巻いてある紙に、目前で書けなくなるほどQSOをしたコールサインを書き込み、本日屋根の上で仕事をしながら、ハンディー機等で誰々とレポート交換をしたと、ニコニコしながら当局に色々詳しく説明しながら、この人すごく顔の広い人やなーあ、と思いながら無線談義に夢中になりました。

当時当局は安月給で、開局とモバイル無線機代金を合わせると数十万、給料の何倍だろうか？とにかく簡単に手の届かない時代で、144MHzのFM交信でさえ、やっとの頃だったと思います、とにかくうらやましい思いながらの歓談でした。

それからは香川県でのJARL88マツノイ通常総会・瀬戸大橋橋上ウォーク及び記念局運用・JARL県支部行事・上級国試・香川クラブ行事等色々と一緒に行動をしてきました、目を閉じると思い出が、書込みできない位吹き出てきます。

最近では亡くなる前日まで、週に定期的に数回のモーニングコーヒーのメールがあり、喫茶店の心やすくなった女の子にバレンタインのチョコレートを用意してねと多田さん流の大きな声で催促をし楽しみにしていました。バレンタイン前日13日の朝、恒例の誘いのメールが無く、今日は仕事が入っているのかなーと思いながら町内のスーパーで買い物をしている時に、時間で言えば午前11時30分頃に、多田さん本人の携帯電話から入電、今日は昼食の誘いかなーと電話を取ると奥様からの訃報の連絡でした。その足ですぐ多田さん宅にお邪魔をして、涙ながら「敬ちゃん明日のチョコレートは貰いに

行かないの？」声を掛けても返事はなく当局の一人言で終わりました！大ショック…………。

多田さんとの出会いは、人生歴史の大きな大きな1ページですが、振り返っても叫んでも、もう帰って来ないページとなりました。



『PMZ 多田さんの思い出』

JH5WMN 山口博司

PMZさんと言って一番印象の強かったのは、私がまだ無線をはじめてやっと面白くなったきたころ、移動運用やフィールドミーティングでよく出かけていたころでしょうか。私は他の人のコールサインや名前を覚えるのが苦手で苦勞していましたが、PMZさんのそれはそれは凄いこと。他のエリアの人までもよくまああれだけスラスラと出てくることに感心していました。JCC, JCGもそうでした。いつでも明朗で快活でそれでいて細かい気配りができるPMZさんのことはみんないつまでも忘れないでしょう。



フィールドミーティング（公渚公園とんぼ休憩小屋でのバーベキュー）
PMZさんトレードマークの麦わら帽子。みんな若い！！

『JH5PMZ 多田さんを偲んで』

JE5PBO 岡田 光

私が仕事で訪問していた会社の隣に立派なタワーが建っているのを、その得意先に行くたびに眺めていました。

縁があって香川クラブに入会して、そのタワーがJH5PMZ多田OMのと判かりました。それから得意先に行く度に多田OMの所へお邪魔させていただいていました。

無線の話は勿論、お遍路の話、消防の話、写真の話、思い出しても出してもきりがありません。多田OMはお話の時、いつも笑顔でお話しされていました。世間知らずの私を時には叱咤激励しても頂きました。感謝してもしても足りませんし、まだまだ恩返しも出来ていません。

多田OMは人生の先輩として尊敬していました。まだまだ沢山の事を教えて欲しかったのに残念でなりません。



『回 想』

J I 5 X T P 坂内信洋

いつの日だったろうか、私が「多田さん一度シャックをみせてよ」と聴くと、いつもの調子の大きな声と満面の笑みで「いつでもええで」との返事。おおよその場所を聞き、早々に訪ねてみた。近くまで行くと大きなアンテナが出迎えてくれた。アンテナをまじまじと眺めていると多田さんが2階から降りてきて「わかったんな」と言った。「アンテナがあったけん、すぐわかったでえ。しゃけど、このアンテナすごいなあ」。「おう、これは鉄人〇〇や」と建塔までの経緯を説明してくれた。そして「まあ、上にあがりまい」といったので一緒に2階に上がった。2階に上がるなり「これ見てんまい。DXより難しいとこのカードやで」と2m SSBで交信をして獲得したQSLカードをみせてくれた。アマチュア無線を始めたばかりの私にはそのカードがどれほど貴重なカードなのかわかるはずありませんでした。それからはシャックを見るよりQSLカード等のオンパレード。「これは七福神のアワード、これはどこそこのカード・・・」と多田さんが交信をした局との状況をこと細かく説明をしてくれた。さらに感心をさせられたのは交信をした局のコールサインが次々と出てくるその記憶力でした。



当時52歳を過ぎ記憶力が無くなってきた私には速射砲のように出てくるコールサインが神業のごとく聞こえました。

2m SSBをこよなく愛し、その話になると時間を忘れていろいろな出来事をおもしろおかしく話し、私にアマチュア無線の奥深さを教えてくれました。

まだまだ、いろいろなお話を聞きたかったのですが、今は叶わぬ夢となりました。

『お久しぶり多田さん』（思い出）

J J 5 C A E 詫間富美子

春の夜桜、夏のビヤガーデン焼肉パーティー、冬の忘年会、そして健善なARDFと年に何回もお会いしていたのに信じられません。



お会いするときは、奥さんと一緒に、にこにこしながら「久しぶり!! どこか良い店（タイムランチ）見つけたなあ?」と、言い乍ら情報交換をしていました。

話し方も優しく笑顔で接してくださって、私も見習わなくてはと思っていました。

どうか広い天国から、いい店見つけたら今晚の夢で教えて

「お久しぶり多田さん!! どこ? どこ? みんなに内緒ネ!!」

『JH5PMZを想う』

JH5LYW 三好伸幸

昭和56年8月のとある夕暮れ、何度か2mFMで交信したことのある”JH5PMZ”とグラインドアイボールすることになりました。声の感じからしてかなり年配のがっしりした人を思い描いていましたが、会ったとたん「えっ、歳は変わらないしハンサムでがっちりした人だなあ」との第一印象でした。

それから30数年、兄弟同様にお付き合いいただき、陰になり日向になり私をHAMの楽しみに導いてくれました。

特に印象に残っているのが昭和56年9月末に、徳島県の剣山で遭難事故があったとき、いち早くフレンド数人と現場に駆けつけ救助に当たってくれたことです。

当事者の一人であった私は今でもそのときの出来事を忘れることができません。



また、多田さんは建築板金を営んでおり、金物の半田などはお手の物でしたが、何故か同軸や電源の配線の半田付けが苦手で、良く笑わせてもらいました。

59の方はぼちぼちで、飲めば陽気になりカラオケに行けば“鳥羽一郎”の演歌を好んで歌っていたのが思い出され、“鳥羽一郎”と言えば目の色が変わり、香川県でライブがあれば必ず見に行き、TV放送があれば、何をさておいても視聴していました。

記憶力が抜群で、「うどん屋と喫茶とコールサインで、わからなければ多田さんに聞いてくるわ」と皆が認める才能を持っておられました。



花が大好きで、奥様と一緒にあちこちの花の名所を見に行ったことを自慢げに話していたことや愛媛の砥部焼きを愛し、家の調度品は砥部焼きばかりと言っても過言でないでしょう。

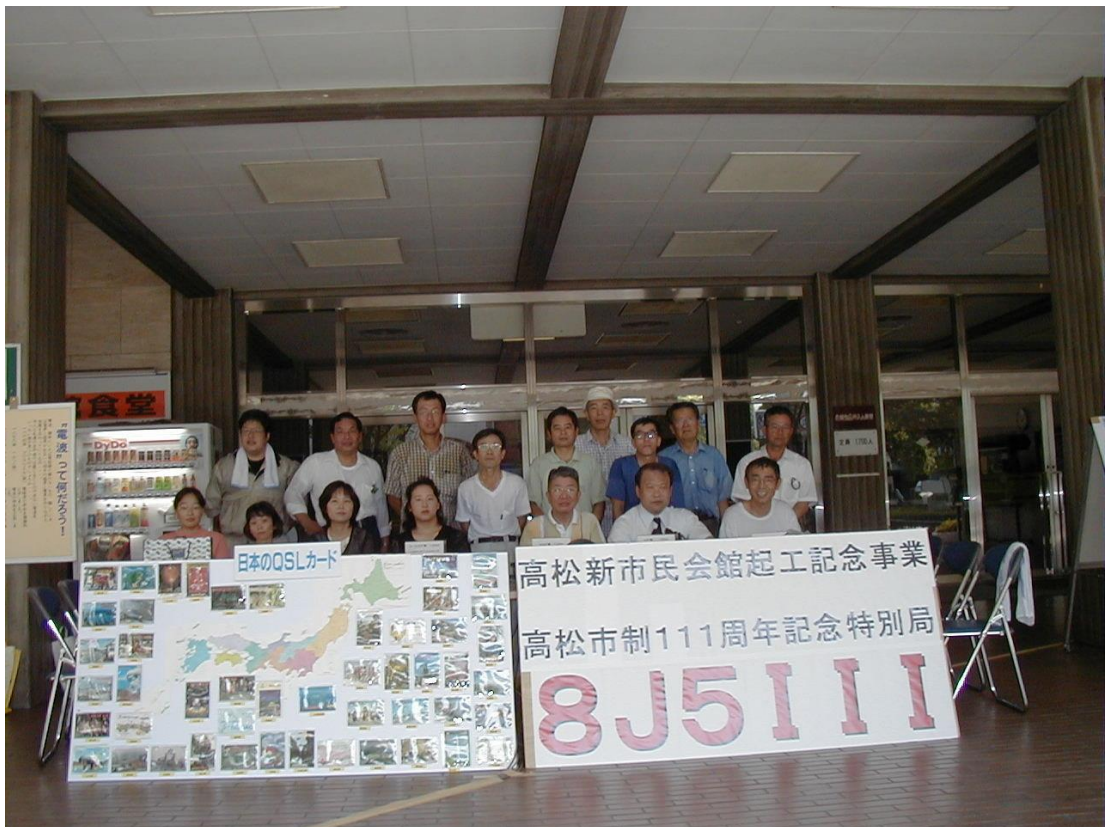
またたいへん信心深い一面があり、四国八十八箇所めぐりは数知れず、西国三十三観音、淡路七福神めぐりなど信仰に厚い方でした。

そんな多田さんでしたので、各種アマチュア無線行事には積極的に参加していただき、JARLの各種行事では、嫌な顔や小言を言わずいつも中心的役割をされていたのが印象深く残っています。

クラブには平成3年4月に入会、以後は役員として率先して運営に関わっていただきました。

思い出を辿るにつけ、多田さんと過ごした年月のいろいろなことが走馬灯のごとくめぐり、あれもこれもと思い浮かびます。とても全て書き切れるものではありませんが、最後に「人の死に様は、その方の生き様、生きた証」多田さんの最後の別れの際にたくさんの方が参列されており、若過ぎる死を悼まれていました。

多田さんの足元にも及ばないでしょうが、私もかく有りたいと思わずにはいられない“尊敬できる方”でした。



<編集の都合上、順不同>

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。

原稿サイズ：B5サイズ 出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送付先：E-mail

Fax

郵送先：〒761-

★★★★ 新入会員募集中 ★★★★★

JARL香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成65年目(1948年10月結成)になります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。

クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

JARL香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。

また、平成25年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

JARL香川クラブ報

発行責任者	JH5LYW	三好	伸幸
編集者	JA5TFJ	横田	寿夫
	JA5TOP	平賀	正明
	J15VUZ	市原	義博
	J15XTP	坂内	信洋